

医療法人社団 芳佑会

がんメディカルクリニック CARNAMED

最先端の培養室を備え、多種の免疫細胞(合計7種類)を活用する

# 次世代のがん治療「新免疫複合細胞療法」を最大限に活用したオーダーメイド医療



総院長 高柳 芳記

たかやなぎ よしのり ●1984年に  
杏林大学医学部卒業後、同大学  
理学部理学教員を経て、89年に  
眼科勤務を経て、99年に  
医療法人社団 高柳眼科を開業。  
2008年に 医療法人社団 芳佑会  
高柳クリニックに改名し「がん  
総合医療外来」を増設。12年に  
がん総合医療外来専門の「がん  
メディカルクリニックCARNAMED」  
を開業

## 新免疫複合細胞療法で効果的な治療を目指す

患者自身の免疫力を高め  
てがん細胞を攻撃する「免  
疫細胞療法」は、がんの標準  
治療といわれる「手術」「抗  
がん剤治療」「放射線治療」  
に次ぐ第四の治療として注  
目され続けてきた。そして、  
樹状細胞研究がノーベル生  
理学・医学賞を授与、同時に  
米国FDAが樹状細胞ワクチ  
ンを医薬品に認可と、次世  
代のがん治療として期待が  
ますます高まっている。「今  
やこの治療は、がん治療のメ

インストリートへ向けて歩み  
始めたとき「いえ、いえ」と力  
強く語るのは、札幌で同治療  
を実践するがんメディカルク  
リニックCARNAMED  
の高柳芳記総院長。  
免疫細胞は、樹状細胞や  
キラーT細胞、NK細胞など  
幅広く、従来はそのうち1  
〜2個だけを活用してきた  
現状があった。「1つ2つを  
活性化させても、残りが停  
滞しては十分な効果は  
得られません。重要なのは  
各細胞間のネットワークの  
構築なのです」と高柳総院  
長は指摘し、それを実現す

るために道内では初の最先  
端の培養室を隣設。世界中  
で実用化された免疫細胞す  
べてを活用できる、国内で  
唯一の施設だ。中でも特に  
注目しているのは、京都府  
立医科大学で2009年に  
治療が行われたナイーブT  
細胞だという。末期がんを  
7割停滞させた。13年2月  
現在で施行できる施設は日  
本で同院を含め5施設しか  
ない。この細胞はヘルパー  
TやキラーT細胞に分化す  
る。さらに重要なのは、攻  
撃能力を長期間維持するメ  
モリーT細胞にも分化する  
点である。それにより、治  
療中断後もがん細胞への攻  
撃を続けることも可能にし  
たのだ。

## 先端の検査に基づく「がん複合カスケード治療」

同院はこうした充実した  
体制を整えつつも、ただ免

## 「見える細胞培養クリーンルーム」を隣設

「どのように培養  
されているのか  
見ることが、心  
安になる」と、  
高柳総院長は  
他施設にない  
配慮の狙いを  
語る。



疫細胞療法だけに頼って  
ない。免疫賦活剤やがんを  
攻撃する免疫細胞を無力化  
する免疫抑制細胞を防ぐ薬  
物、さらに、機器や薬物で  
ヒートショックプロテイン  
を高める新温熱療法、血液  
フォトセラピーや高濃度ビ  
タミンC点滴の酸化療法を  
組み合わせた「がん複合カ  
スケード治療」で高い治療  
効果を得ている。最先端の  
検査として「血中循環がん  
細胞検査(CIRC)」を導入  
し、血行性転移の把握や抗  
がん剤の迅速な効果判定に  
も大きな力を発揮している。

一方で早期からの受診も大  
切と訴える。標準治療の開  
始時から併用することで、  
より効果的な治療や、がん  
の再発予防にもつながるの  
だという。「がん治療におけ  
る免疫の役割は以前から指  
摘されてきました。今後、  
技術の進歩に伴い、免疫細  
胞療法がすべての治療の  
ベースになるでしょう」。高  
柳総院長は新たながん治療  
の担い手として、治療のさ  
らなる発展を目指していく。

診療時間 月～金 9:00～17:00  
土 9:00～12:00  
※完全予約制

休診日 日・祝

〒060-0807  
北海道札幌市北区北7条西2-8-1  
札幌北ビル3F  
TEL.011-738-3700  
FAX.011-738-3711  
<http://www.carnamed.jp/>

※免疫細胞療法は保険適用外。治療費はナイーブT細胞輸注療法が1回35万円、NK細胞輸注療法が1回28万円、  
樹状細胞輸注療法が1回28万円、樹状細胞ワクチンが1回28万円、活性化T細胞療法(γδT細胞)が1回28万円